

2021年3月21日
祈りの時
詩篇11篇1～7節

＜ 11 ＞指揮者のために。ダビデによる

11:1 【主】に私は身を避ける。どうして、あなたたちは私のたましいに言うのか。「鳥のように、おまえたちの山に飛んで行け。

11:2 それ、見よ。悪者どもが弓を張り、弦に矢をつがえ、暗やみで心の直ぐな人を射ぬこうとしている。

11:3 投げ所がこわされたら正しい者に何ができようか。」

11:4 【主】は、その聖座が宮にあり、
【主】は、その王座が天にある。

その目は見通し、
そのまぶたは、人の子らを調べる。
11:5 【主】は正しい者と悪者を調べる。
そのみこころは、暴虐を好む者を憎む。

11:6 主は、悪者の上に網を張る。火と硫黄。燃える風が彼らの杯への分け前となろう。

11:7 【主】は正しく、正義を愛される。直ぐな人は、御顔を仰ぎ見る。

1 「主に私は身を避ける。」という信仰の告白で11篇は歌いだされています。主に身を避ける信仰は詩篇46篇「神は、われらの避け所、また力。苦しむ時、そこにある強き助け。」と歌っています。神に身を避ける信仰を宗教改革者マルチンルターは「神はわがやぐら、わが強き盾苦しむ時の 近き助けぞ」と歌っています。ダビデ、ルターと一緒に「私は主に身を避けます、主は私の避け所」と信仰の告白をいたしましょう。

2 3節で「拠り所がこわされたら正しい者に何ができるか。」と告白しています。ダビデは当時の国王サウルに命を狙われています。自分の国の中に安住の所、拠り所がありません。敵地のペリシテの野でダビデは洞窟に隠れています。そこも安住の地ではありません。ダビデのこの世のすべての拠り所、居場所がなくなっています。私たちも主に身をゆだね、主こそ本当の避け所、拠り所、居場所と主に身を委ねる信仰の告白をしましょう。

3 4節を読みましょう。「主は その聖なる宮におられる。主は、その王座が天にある」と告白しています。祈りの中で主の臨在が鮮やかになってきましたこの地上に拠り所がなくなったり、居場所がなくなる、何らかのことで四面楚歌のようになっても、目を天に向け、天の王座でとりなしをしてくださる主を仰いで安らぎをいただきましょう。

4 5～7節を読みましょう。天の王座におられる主は悪者を調べ、悪者どもの上に網を下され、さばきをされます。心のすぐな人々が主の御顔を仰ぎ見るように、苦難、困難の中にありましても主の御顔を仰ぎましょう。

2021年3月第三の主の日の礼拝です。

3月28日は棕櫚の日曜日、
イエス様がロバに乗って王として

エルサレムに入城されました。

その週は受難週、木曜日には最後の晩餐の時に弟子たちと共にもたれ、その夜ゲッセマネの園で祈られました。金曜日に十字架につかれ試練、苦難の後、イエス様は力強く死から復活されました。4月4日はイースターです。

私たちもイエス様の復活の力で
誘惑、罪に打ち勝ち、勝利しましょう。

苦難の中におられる方々がイエス様の復活の力によって歩まれるように祈りましょう。

この一年主からのビジョンに
導かれて歩めるように。

召された場所、主に遣わされたところで
良き働きができるように祈りましょう。

人に仕え、主の栄光を現すことが
できるように。

礼拝、その他の集会が
祝福されるように祈りましょう。

リモートで礼拝を守っておられる方々が祝福され
るように祈りましょう。

春は変化の季節です。

家族、子供たち、新しい道に進まれる

友のことを覚えて祈りましょう。

空手教室も始まりました。

講師の朱達基先生のため、参加者のため、

安全のために祈りましょう。

教会学校が祝福されように祈りましょう。

一人一人の仕事、経済が守られ祝福される

ように。この一週間元気に守られ、

又来週元気に主を礼拝できるように。

主の祈り

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあがめさせたまえ
御国を来たらせたまえ
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく
我らの罪をも赦したまえ
我らを試みにあわせず
悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは
限りなく汝のものなればなり アーメン